

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
経営財務論Ⅱ Financial Management II		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅰ・Ⅱ、経済学、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、証券と金融、ファイナンシャルプランニングⅠ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ、ファイナンシャルプランニングⅡ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
國分三郎	本館 2F	木曜日 12:10~13:00		授業中に指示します
授業の概要				
経営財務論Ⅰで学んだ経営財務論の基本的な概念や理論に基づき、企業の財務活動を考える。ここでは、企業の資金運用・調達行動を考察したのちに投資行動の決定基準を考察する。さらに、不確実性を考慮した投資の決定基準を取り上げる。				
授業の目標				
①現代企業の投資行動を理論的に考え説明できるようにする。 ②今日の代表的な投資判定基準の長所短所を説明できるようにする。 ③我が国企業の投資行動に関する時事的問題を財務論の枠組みの中で初歩的な解説ができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義方式であるが出来るだけ対話方式を取り入れて受講者の理解を深めたい。また、理論だけではなく事例計算も取り入れる。				
学習の成果(学習成果)				
現代企業の投資判定基準の理論的背景とそれぞれの判定基準の長所・短所を踏まえて、代表的な判定基準である「現在価値法」と「内部収益率」の特徴と内容を理論的に説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	資本運用の意義(経営財務からみた企業の行動、経常支出と資本支出、例外事例)			
第3回目	投資の分類(投資とは、Jeol Deanの投資分類、独立的投資と相互依存的投資)			
第4回目	投資プロジェクトの分析(投資プロジェクトの分析とは、投資プロジェクトの基礎概念、投資プロジェクトの過程)			
第5回目	投資の確実性と不確実性(確実な投資プロジェクトと不確実な投資プロジェクト)			
第6回目	回収期間法(回収期間法とは、投資プロジェクトの採択、回収期間法の長所と問題点)			

第7回目	会計的利益率法（会計的利益率とは、会計的利益率法による投資の評価、会計的利益率法の問題点）	
第8回目	回収期間法と会計的利益率法の事例計算	
第9回目	年額原価法①（年額原価法により投資の評価）	
第10回目	年額原価法②（年額原価法の問題点） 小テスト	
第11回目	現在価値法①（貨幣の時間価値を考慮した評価法、現在価値の計算、現在価値法による投資の決定）	
第12回目	現在価値法②（年々のキャッシュフローが等しいときの現在価値計算）	
第13回目	内部収益率法①（内部収益率とは、内部収益率法による試行錯誤法）	
第14回目	内部収益率法②（補完法による内部収益率の正確な計算）	
第15回目	投資プロジェクトの順位づけ（評価が相反するプロジェクトの評価）	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準(S)としては、すべての授業に積極的に参加して、配布物資料以外の重要な事項についても主体的に調べ、授業での疑問点には進んで質問すること。
レポート		
調査報告書	10%	
小テスト	10%	小テストの最高水準(S)としては、出題された5つの基本的な専門用語を、1問300字以内にその要点を簡潔に纏めて記述すること。
試験	60%	期末試験の最高水準(S)としては、設問の主旨を理解した上で、設問で求められている内容を必要な専門用語を使いながら一貫性を以て論述すること。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない。必要になった場合、そのつど資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
授業中の私語は禁止する。また、原則的に欠席・遅刻は禁止する。已む得ない時は申し出る事。		